理事長ごあいさつ



社会福祉法人 光風会
理事長
牧野 ヒナ子

社会福祉法人光風会特別養護老人ホームたちばなの里は開設20周年を迎えることができました。

これも偏に地域の皆様をはじめ役員の皆様の支えがあったからだと、心より感謝と御礼を申し上げます。

今、あらためて振り返ってみますと、介護保険制度の導入以来社会福祉を取り巻く社会情勢の変化は激しく、その対応に追われ続ける毎日で20年という歳月は私にとりましてはあまりにも短くてあっという間の時間でした。

先代の理事長（夫、牧野光夫）が東大阪市長から要請を受け、特別養護老人ホームを運営するにあたり、自らの信念を語っているのを傍らで見聞しておりましたが、それは、「地域の皆様の医療と福祉は自分が守る」という強いものでありました。

医療関係については、すでに牧野病院で実践いたしておりましたので、福祉の分野とりわけ高齢者福祉については、施設を建設して地域の中心的な役割を果たすものを造るというものでした。

それは、介護保険制度がはじまる２年前のことでありました。

施設の建設を進めていく過程では難しい課題もありましたが、行政機関の人々をはじめ地域の役員の方々のご協力とご支援を得ながらひとつひとつ解決し、平成11年３月21日に無事開設することができました。

平成20年２月から理事長を引継ぐにあたり、法人の運営についての理念、運営方針を決めることとなりましたが、先代が唱えておりました「地域に根ざした高齢者福祉の拠点施設として、これから到来する超高齢社会にふさわしい役割を果たすこと」と「利用者の方々が安心・安全・快適な生活環境のなかで、明るく、楽しく、自由に生活できる場を提供すること」を継承することとしました。

この理念と運営方針は全職員に周知、徹底されており、これから後に続く職員にも引継がれて行くものと思います。

特別養護老人ホームたちばなの里の実施する事業や施設運営は、地域の方々をはじめ利用者の方々や関係者の皆様からも厚い信頼と高い評価をいただいていると仄聞しております。

これからも、皆様からいただきました信頼と評価に恥じないよう最善の努力をしてまいりますので、社会福祉法人光風会 特別養護老人ホーム たちばなの里に温かいご支援を賜りますようお願い申しあげます。